

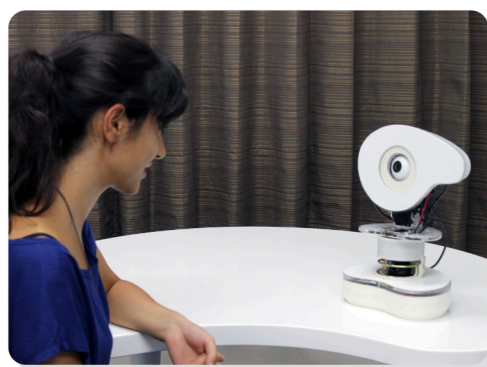
〈弱いロボット〉的 思考のすすめ

他力本願なロボットがひらく
弱いという希望、できないという可能性



「ひとりでできるようになるんだよ!」という期待のもと、子どもたちも「もうひとりでできるもん!」と得意がる……。わたしたちはこの「ひとりでできる」ことをよしとする文化の中で育ってきたようです。

本講演では、いつも強がるだけでなく、時には自らの〈弱さ〉を自覚しつつ、それを適度に開示することで生まれる、人とロボットとの豊かな関わりやコミュニケーションについて考えます。



10月31日(水)
18:15~19:45

講師：岡田 美智男

豊橋技術科学大学

情報・知能工学系 教授

場所：日吉キャンパス 来往舎2F 大会議室

対象：塾生・教職員

(無料 予約不要)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

岡田 美智男

豊橋技術科学大学情報・知能工学系教授
1987年、東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了、工学博士。NTT基礎研究所 情報科学研究部、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、京都大学大学院情報学研究科客員助教授などを経て、2006年より現職。〈弱いロボット〉概念の提唱により、2017年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(科学技術振興部門)などを受賞。

専門は、ヒューマン・ロボットインタラクション、社会的ロボティクス、コミュニケーションの認知科学。主な著書に『〈弱いロボット〉の思考 わたし・身体・コミュニケーション』(講談社現代新書、2016)、『弱いロボット』(医学書院、2012)、『ロボットの悲しみ コミュニケーションをめぐる人とロボットの生態学』(共編著、新曜社、2014)など。

